

ガラス絵の魅力に惹かれて

36年間勤務した市役所を退職してから始めた絵画の世界、石川三知代先生の作品に憧れガラス絵を始めました。私の絵は身体を小宇宙のミクロコスモス、宇宙を大宇宙であるマクロコスモスに見立てての表現です。私たちは身体に異常があるとそれが細胞や血液に現れます。長いこと管理栄養士としての仕事をした中で、私は血液の流れに不思議な魅力を感じてきました。その不思議さをイメージしながら絵画表現を試みています。特にガラス絵によって表現できる深みのある色彩の世界に魅了されました。

近年はアクリル絵の具で描く自由表現に興味を持ち、清美会で濱田先生のご指導の下でガラス絵とは異なる表現を楽しんでおります。

この度、念願でありました姉との姉妹展が開催できます事に感謝しております。

永井富貴子

永井富貴子 プロフィール

一陽会委員・石川三知代氏に師事しガラス絵を学ぶ

2003 ガラス絵コクリコ会展初出品

2005 千葉一陽展初出品・佳作賞

第51回一陽展初出品

2007 千葉一陽展・同人賞

2008 千葉一陽展・同人賞

第54回一陽展・奨励賞

千葉市民展・奨励賞

2009 第55回一陽展会友推挙

千葉市民展・奨励賞

2018 千葉一陽展・千葉会友賞

第64回一陽展会員推挙

2023 藝術家年鑑主催第2回グレートリープ大賞展・入選

第10回記念飯田弥生賞展・入選

2024 第73回千葉県展・奨励賞

芸術家年鑑主催第3回グレートリープ大賞展・奨励賞

2025 藝術家年鑑主催第4回グレートリープ大賞展・入選

現在 一陽会会員

千葉県美術会会員

千葉市美術協会会員〈委嘱〉

加納勝子・永井富貴子姉妹展に寄せて

二人は長い間、一陽会委員であった故石川三知代氏の門下としてガラス絵を学んだ。ガラス絵と云うと絵描きの余技のように思われるがちであるが、石川門下の一陽会出品作家のガラス絵は100号の大作である。

二人はそのガラス絵特有の艶やかな世界に魅せられて、表現活動の核に据えて制作している。加納さんは空き缶をモチーフにした連作で一陽会会員として特異な位置を占めている。永井さんも一陽会会員であるが、単位形を連ねての画面構成に金箔を組み込む作画方法で魅力的な世界を連作している。二人は長いキャリアをもつが、発表は一陽展とガラス絵協会展のみに限っていた。しかし最近は千葉県展や複数の全国公募のコンクール展等にも積極的に挑戦し入選・受賞と高い評価を得ている。2024年の千葉県展では二人同時に受賞し、芸術家年鑑主催のグレートリープ大賞展でもそれぞれが受賞を果たしている。

ガラス絵は裏側から描くという特異性から、制作にはかなりの制約がある。つまりタブロー表現にある自由さや闘達さが求めにくいのである。5年ほど前「描きたいものを自由に表現する魅力」について話す機会があり、アクリル絵の具で、の表現の可能性についての勉強会を続けている。今回の姉妹展ではその絵の具遊びの延長にある小品も含めて陳列されると聞く、二人のお人柄と共に楽しい展示になることを願っている。

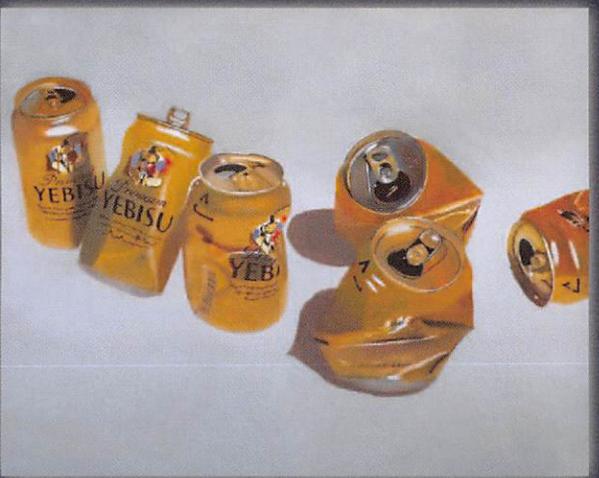
一陽会運営委員・千葉県美術会常任理事 濱田 清



Gallery睦アクセス：JR千葉駅千葉公園口から徒歩10分

千葉市中央図書館裏口正面、弁天保育所となり

Katsuko Kanoh 加納勝子 姉妹展 永井富貴子 Fukiko Nagai



加納勝子《天への贈物 待つ》第63回一陽展 2017

会場 Gallery睦

会期 2026年4月3日(金)～4月15日(水)

休館日 4月6日(月)・4月9日(木)・4月13日(月)

開館時間 11:00～18:00 最終日は16:00まで

Gallery睦

〒260-0045 千葉市中央区弁天3-8-11

TEL & FAX 043-287-2355

URL <https://gallery-mutsu.com>

ごあいさつ

私はガラス絵の透明感と引き込まれるような深い色合いに魅せられ、38年にわたり描き続けております。画面の主役として登場するビールの空き缶を、大量生産・大量消費・大量廃棄という現代社会の象徴と捉えて制作を続けています。今、一陽展・千葉県展・千葉市展が作品発表の場となっておりますが、その発表の機会がある事をこの上ない喜びと感じております。

加納勝子

加納勝子 プロフィール

一陽会委員・石川三知代氏に師事しガラス絵を学ぶ

1992 コクリコ会展初出品 以後毎年出品

1994 千駄木画廊出品

1997 千葉一陽展初出品 以後毎年出品

千葉一陽展・同人努力賞・同人賞

2001 第47回一陽展・奨励賞

2004 第50回一陽展会友推挙

2005 大黒屋ギャラリー コクリコ展出品

2007 千葉市展・奨励賞

2008 千葉市展・千葉市美術館長賞

2010 香川県善通寺市美術館（大西忠夫記念館）出品

2015 第61回一陽展会員推挙

2023 第10回記念飯田弥生賞展・奨励賞

芸術家年鑑主催第2回グレートリープ大賞展・入選

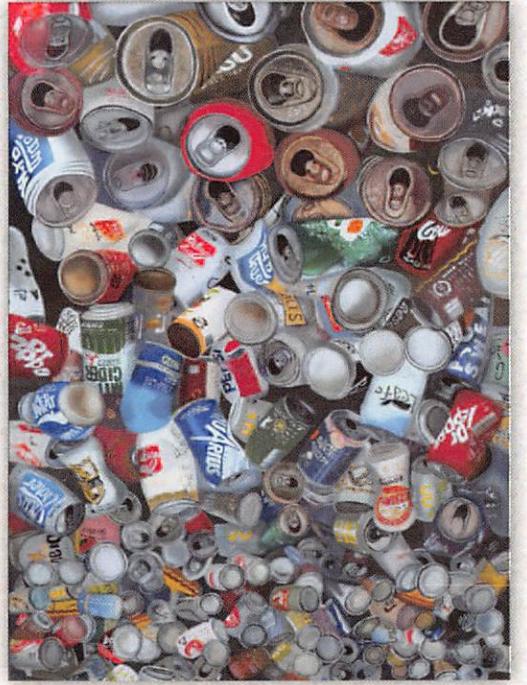
2024 第73回千葉県展・印西市長賞

2025 藝術家年鑑主催第4回グレートリープ大賞展・奨励賞

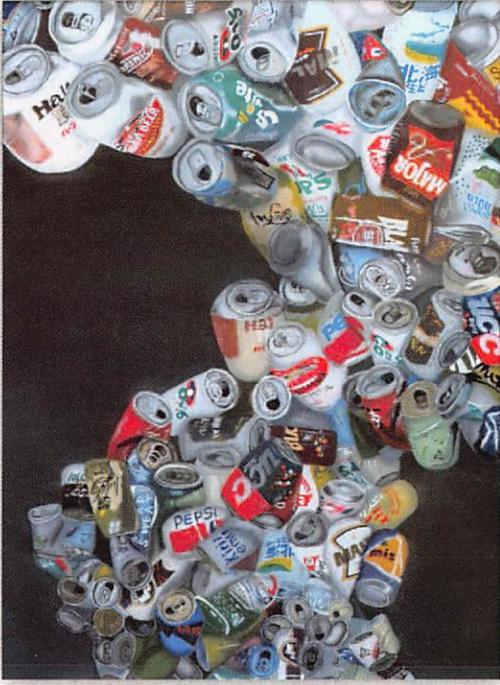
現在 一陽会会員

千葉県美術会会員

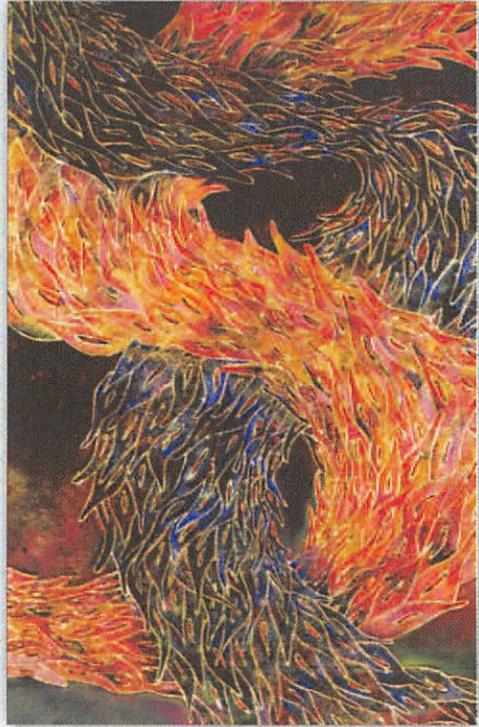
千葉市美術協会会員〈特待〉



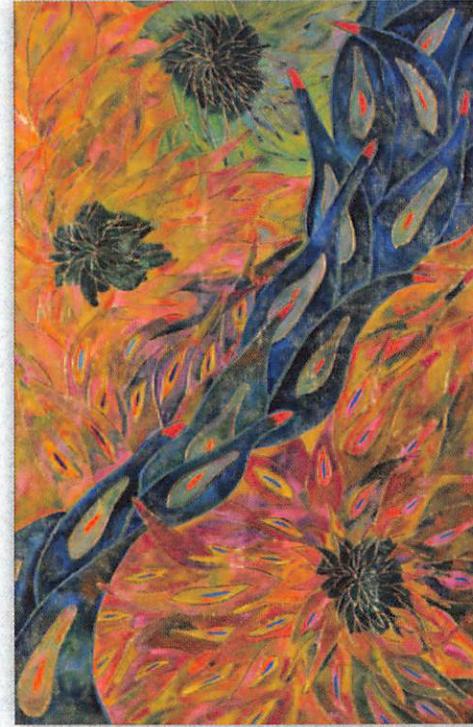
加納勝子《天への贈物》コクリコ展 2009



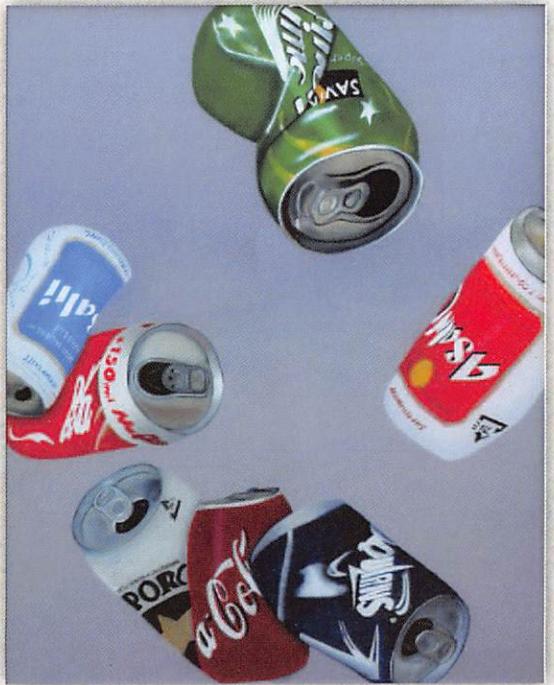
加納勝子《天への贈物》コクリコ展 2013



永井富貴子
《ミクロコスモス 生》
第54回一陽展 2008



永井富貴子
《ミクロコスモス 起源》
第64回一陽展 2018



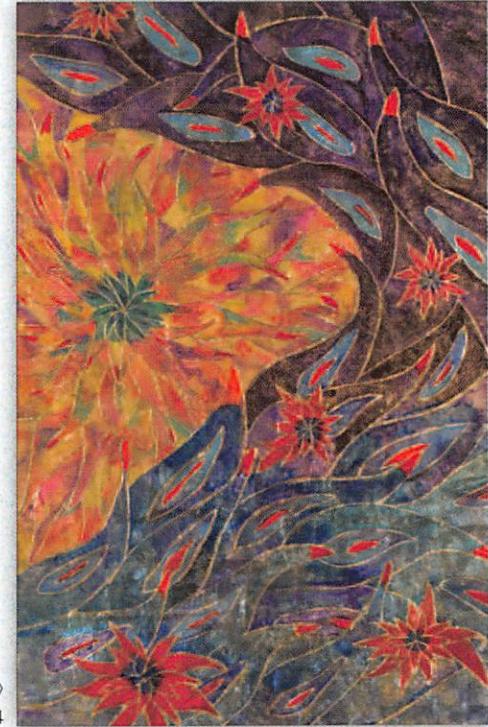
加納勝子《天への贈物》コクリコ展 2016



加納勝子《一隅》第68回一陽展 2022



永井富貴子
《ミクロコスモス 脈》
第69回一陽展 2023



永井富貴子
《ミクロコスモス 脈》
第70回一陽展 2024